

科目名	国際関係論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			法律学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	International Relations	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	さとう かつえ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	佐藤 克枝	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	国家間の政治・外交の相互作用を中心に国際関係の諸問題について学ぶ。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 国際関係を理解するための基本的な知識を習得できる。 2 現在の国際情勢について複数の視点から考察し、意見を述べることができるようになる。 3 自身の立場で国際社会に貢献できることについて考えることができるようになる。				
授業概要	国家間の関係は複雑化しています。国際関係の基礎理論を学んだうえで、具体的な事象についても研究しながら現在の国際政治と歴史についても学びます。また、現代の国際関係における諸問題について考察します。				
授業計画					
第1回	国際関係論とは (ガイダンス)				
第2回	国際関係の主体				
第3回	ゲーム理論と国際関係				
第4回	国際関係の歴史 (20世紀まで)				
第5回	20世紀から現代の国際関係				
第6回	国際関係の見方 (現実主義とパワーポリティクス)				
第7回	前半のまとめ・中間試験				
第8回	紛争と戦争・中間試験				
第9回	国際法秩序と国際連合				
第10回	紛争の平和的解決				
第11回	軍備管理と軍縮				
第12回	非国家アクター				
第13回	我が国にかかわる領域と問題				
第14回	グローバル・イシュー				
第15回	全体のまとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前には教科書の該当箇所必ず目を通してください。(2時間程度) 2. 単元毎に、前回講義内容の確認を行います。講義の復習をしっかりと行ってください。(2時間程度) 3. 国際ニュースをチェックすることを習慣化してください。				
履修条件 受講のルール	教科書を必ず購入してください。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡がなく欠席した学生には原則として配布しませんので、友人同士でコピーしてください。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。				
テキスト	佐渡友哲 編『国際関係論 第3判 (Next 教科書シリーズ)』(弘文堂)				
参考文献・資料	山田高敬・大屋根聡『グローバル社会の国際関係論』(有斐閣)、三船恵美『基礎から学ぶ 国際関係論 (改訂版)』(泉文堂)、黒川修司『現代国際関係論』(国際書院)、西川吉光『マスター国際関係論』(三恵社)、				
成績評価の方法	【試験 (中間40%、期末40%)、受講態度20%】				

	<p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> </ul>
オフィスアワー	火曜日 14:40～16:10・水曜日 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として法務業務に携わり、コンプライアンスのほか、他国と国際法をいかに守りながら紛争を解決するかを考える業務にも関わりました。この授業をとおして、主要国間の関係の変化や今後の課題についても話したいと思います。
学生へのメッセージ	国際関係について興味のある学生の積極的な参加を期待します。国際関係のニュースを視聴（新聞購読、ニュースサイトの設定・利用など）できるよう準備をしてください。広い視点から一緒に国際関係（問題）を考え、学んでいきましょう。